

「総合的な学習の時間のすばらしさを市民に伝えよう」

本単元で育成する資質・能力

思考力・表現力・主体性・積極性

1 単元について

- 本単元は、小学校学習指導要領第5学年及び第6学年の「C 読むこと」「B 書くこと」の内容に基づき設定した。学習指導要領には、以下のように示されている。

C(1) イ 目的に応じて、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫すること。

B(1) イ 自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考えること。

(1) 単元観

本単元は、新聞の投書を読み比べ、書き手の説得の工夫を読んだり、自分で投書を書いたりする活動を通して、目的をもって複数の本等を読み比べ、説得の工夫をとらえるとともに、それを生かして書く力を身に付けることをねらいとしている。

本教材は、児童の関心が高いスポーツに関する4つの投書が提示され、それらを比較することによって投書の特徴を知り、説得の工夫が理解できるように示されている。これらのことから、本教材は複数の本等を読み比べ、説得の工夫をとらえるとともに、それを生かして書く力を身に付けるために適した教材である。

また、本単元では、総合的な学習の時間の学習活動に対する多様な意見を紹介し、それに対する主張を表現させることで、児童自身に総合的な学習の時間を客観的に見つめさせ、各教科との関連やその効果を児童自身に気付かせることで、総合的な学習の時間の学習へ意欲付けることもねらいとしている。

(2) 児童観

学力調査等に関する実態

平成28年度全国学力・学習状況調査の国語B2三（活動報告文で課題を取り上げた効果捉えることができるか）の結果は、平均正答率71%だった。このことから、「書くこと」において、文章の構成を工夫し、理由を明確にして書く力に課題があると考え。また、複数の本等を読み比べ、書き手の工夫をとらえる経験も不十分である。

資質・能力に関する実態

平成27年度「基礎・基本」定着状況調査の児童生徒質問紙を昨年度の2月に再実施した。その結果を昨年度の6月の結果と比較したところ、「授業では、自分の考えを積極的に伝えていきます。」(75.7%)、「授業では、友達と話し合うなどして、自分の考えを深めたり、広げたりしています。」(86.5%)に課題が見られた。これらのことから、言葉を通じて積極的に人と関わり自己表現する主体性・積極性に課題があると考え。また、友達と考えを交流することによって必要な情報を精査・取捨選択するなど考えを深める思考力・表現力に課題があると考え。

(3) 指導観

本単元では、主体的な読み手と書き手を育てるために、まず総合的な学習の時間との関連させることで、読む目的意識を明確にもたせる。また、知識構成型ジグソー法等のグループ学習を効果的に活用することで、複数の投書を意図的に読み比べられるよう支援する。これらを通して、説得の工夫を読む力や、それを活用して書く力を伸ばしたい。

本単元は、地域にある「山陽日日新聞」と連携し、実際に新聞の投書を掲載する学習活動を軸とする。導入では、総合的な学習の時間で掲載した新聞記事に対する市民の反応や他の方の批判的な捉え方の両方を紹介し、総合的な学習の時間のすばらしさが十分伝わっていないという問題意識をもたせる。そして、地元の新聞への投書を行い、すばらしさを伝えたいという意欲を高めさせ、教科書教材を用いて、投書の書き方と説得の工夫を情報収集させる。また、前述のジグソー法等も用いて自分の考えを積極的に伝えようとする意欲を高めさせたり、友達と話し合っ自分の考えを深めたり広げたりする体験をさせたりして、課題とする資質・能力の向上を図る。最後に、新聞の投書を地元の新聞に掲載し、問題解決の実行を図る。

(4) 単元でめざす児童の姿

- 問題を解決するために、進んで投書を読み、説得の工夫をとらえたり投書を書いたりしている。
(国語への関心・意欲・態度)
- 投書の構成、理由づけの仕方や根拠の挙げ方など、書き手の説得の工夫をとらえている。
(読むこと)
- 伝えたいことを明確にもち、構成を工夫し、具体的な理由を挙げながら投書を書いている。
(書くこと)
- 文章全体の構成は目的に応じて決定されており、目的に合わせた構成であることを理解する。
(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

2 単元の評価規準

	国語への 関心・意欲・態度	読む能力	書く能力	言語についての 知識・理解・技能
教科	○意見を伝えるための投書に関心をもっている。 ○進んで書き手の主張や説得の工夫を読んだり書いたりしようとしている。	○投書の構成、理由づけの仕方や根拠の挙げ方に気を付けて読み比べ、それぞれの書き手の説得の工夫をとらえている。	○自分の考えが読み手に伝わるように、構成や理由づけの仕方、根拠の挙げ方を工夫して投書を書いている。	○投書の文章の構成を目的とともに理解している。

3 本単元において育成しようとする資質・能力とのかかわり

読み手を説得する新聞の投書を書くために、教科書で投書の書き方を情報収集・整理分析したり、自分が書いた投書の原稿を友達と相互評価することで説得力を高めるために推敲したりする活動を行う。その際、小グループ学習を積極的に取り入れ、友達と考えを交流し合う。これらのことによって、目的に応じて必要な情報を精査・取捨選択するなど思考力・表現力を育成するとともに、言葉を通じて積極的に人と関わり自己表現する主体性・積極性も育成できると考える。

4 指導計画（全12時間）

次	学習活動	評価規準 (評価方法)	資質・能力の評価 (評価方法)
一	<p>課題の設定</p> <p>昨年度の総合的な学習の時間で掲載した空き家問題の新聞記事に対する多様な反応を知り、総合的な学習の時間のすばらしさが十分理解されていないのではないかとこの点について話し合う。総合的な学習の時間のすばらしさを伝えたいという目的をもつ。(1) 問題の解決方法を考え、単元の学習計画を立てる。(1)</p>	<p>意見を伝えるための投書に関心をもっている。【関・意・態】(ノート, 行動観察)</p>	
<p>【本質的な問い】読み手を説得する新聞の投書を書くには、どうすればいいのだろうか。</p> <p>【学習課題】新聞の投書の書き方を学習して、総合的な学習の時間の素晴らしさを伝える投書を書こう。</p>			
二	<p>情報の収集</p> <p>投書④を使って書き手の説得の工夫を読み取り、その後、3つの投書から自分が納得したものを1つ選び、書き手の説得の工夫を読み取る。(2)</p> <p>同じ投書を選んだ人とグループを作り、説得の工夫を交流してまとめる。(1)</p> <p>整理・分析</p> <p>グループを入れ替え、収集した情報(読み取った説得の工夫)を他の人と説明し合い、全体で確認する。(1)</p>	<p>投書の構成、理由づけの仕方や根拠の挙げ方など、書き手の説得の工夫をとらえている。【読む】(ノート)</p> <p>投書の文章の構成を目的とともに理解している。【言語】(ノート)</p> <p>投書の構成、理由づけの仕方や根拠の挙げ方など、書き手の説得の工夫をとらえている。【読む】(ノート)</p> <p>投書の構成、理由づけの仕方や根拠の挙げ方に気を付けて読み比べ、それぞれの書き手の説得の工夫をとらえている。【読む】(ノート)</p>	<p>友達と複数の考えや資料を比較して、必要な情報を取捨選択している。【思考力・表現力】(ノート, 行動観察)</p> <p>言葉を通じて積極的に人と関わり自己表現している。【主体性・積極性】(ノート, 行動観察)</p>

<p>三</p>	<p>まとめ・創造・表現</p> <p>個人で投書の構成を考え、投書を書く。(2)</p> <p>他の人の投書を読み、相互評価し合い、自分の文章を推敲する。(1)</p> <p>実行</p> <p>再度、グループを作り、より説得力のある理由づけや根拠の挙げ方を選び、グループで1つの投書を作る。(1)</p> <p>全体で投書を発表し合い、相互評価し合う。(1)</p>	<p>自分の考えが読み手に伝わるように、構成を工夫し、理由を明確にして投書を書いている。 【書く】(投書)</p> <p>自分の考えが読み手に伝わるように、理由をより明確にして投書を書いている。 【書く】(投書)</p> <p>考えが読み手に伝わるように、構成を工夫し、理由を明確にして投書を書いている。 【書く】(投書)</p>	<p>自分が書いた文章について、視点をもって自己評価したり友達と相互評価したりしながら、推敲している。 【思考力・表現力】(投書)</p> <p>言葉を通じて積極的に人と関わり自己表現している。 【主体性・積極性】(ノート, 行動観察)</p>
<p>四</p>	<p>ふりかえり</p> <p>単元の学習を振り返る。(1)</p>	<p>振り返りの視点</p> <p>①学習して分かったこと (大めあての答え)</p> <p>②学習の方法でうまくいったこと, または, 失敗したこと (理由)</p> <p>③もっと学んでみたいこと</p>	

5 本時の展開 (1 / 12 時間)

(1) 本時の目標

総合的な学習の時間に対して寄せられた新聞の読者の反応や市民の声をすることで、総合的な学習の時間に対する多様な反応があることに興味をもつ。 【関・意・態】

(2) 観点別評価規準

意見を伝えるための投書に関心をもっている。 【関・意・態】

(3) 学習の展開

学習活動	指導上の留意点 (・), 予想される児童の反応 (○) 配慮を要する児童への支援 (◆)	評価規準 (評価方法) 教科の指導事項 (○) 資質・能力 (★)
1 昨年度の総合的な学習の時間の活動を想起し、それに対する読者の多様な反応を知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 土堂地区の空き家問題の解決に向けて取り組んだことを新聞で連載したことを想起させ、読者の反応を出し合う。 (小学生が空き家問題に取り組んでいてすごい、うれしい等) ・ 小学生には難しいのではないかと、学力は付いているのかといった声も紹介し、児童の感想を発表させる。 ・ 新聞社の方からフリースペースを使う許可はもらえることを伝える。 ○ 総合的な学習の時間のいいところが、読者に伝わっていないんだな。何とかして伝えたい。 ○ フリースペースを使って、自分たちの気持ちを伝えよう。 ○ そのためには、まず計画を立てたい。 	
2 学習課題を設定する。	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">総合的な学習の時間の素晴らしさを伝えるための学習計画を話し合おう。</div>	
3 解決方法を考え、グループで交流する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 解決方法をノートに書かせた後、小グループで交流させる。 ○ フリースペースに自分たちの考えを書いて載せてもらう、ホームページやポスターで発信するなど。 	
4 全体で交流し、今後の取組について話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多様に出された意見を共感的に受容しながら、自分の主張を新聞で伝えるためには「投書」という手法があることを知らせる。 ・ 児童から出なければ、国語の教科書を参照させる。 ・ 国語の教科書の「新聞の投書を読み比べよう」で投書の書き方を学んだ後、自分で投書を書くという大まかな見通しを確認する。 ○ 読者に伝えるにはフリースペースが最善だ。投書の書き方が分からないので、教科書で調べたい。 	
<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">新聞の投書の書き方を学習して、総合的な学習の時間の素晴らしさを伝える投書を書こう。</div>		
5 振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ これから取り組みたいことをノートに書かせる。 ○ 教科書で投書について学習して、総合的な学習の時間の素晴らしさを読者に伝えるために、説得力のある投書を書きたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 意見を伝えるための投書に関心をもっている。 【関・意・態】(ノート、行動観察)

6 本時の展開 (2 / 12時間)

(1) 本時の目標

学習の目的と方法を理解し、単元の学習活動に対する意欲をもつ。

【関・意・態】

(2) 観点別評価規準

○進んで書き手の主張や説得の工夫を読んだり書いたりしようとしている。

【関・意・態】

(3) 学習の展開

学習活動	指導上の留意点 (・), 予想される児童の反応 (○) 配慮を要する児童への支援 (◆)	評価規準 (評価方法) 教科の指導事項 (○) 資質・能力 (★)
1 前時の学習を想起する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前時の児童の振り返りから「読み手を納得させる」「説得力」などの記述を紹介し、前時の学習を想起させる。 ・ 新聞の投書を読んだ読み手からどんな反応を聞きたいか考えを出させ、「読み手を説得する」というキーワードでまとめ、大めあてを確認する。 ○ 総合的な学習の時間はとても意味のある学習ですね、という声を聞きたい。そのために、説得力のある投書を書きたい。 	
2 大めあてを設定する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">大めあて 読み手を説得する新聞の投書を書くには、どうすればいいのだろう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 解決方法とどんな投書を書きたいかについて考えさせる。 	
3 単元の学習課題を確認する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">新聞の投書の書き方を学習して、総合的な学習の時間のすばらしさを伝える投書を書こう。</div>	
4 学習計画を立てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書で書き方を学習→自分で投書を書く→新聞を発行という計画を確認し、ノートに書かせる。 ・ 教科書にある4つの投書について、工夫を一度に読み取るのは難しそうなので、どのようにするか話し合わせる。 ○ グループに分かれて読み取り、その後、交流して共通点や相違点を考えたらいい。など 	
5 4つの投書を音読する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 納得した投書を選ぶために、教科書にある4つの投書を音読させ、内容を理解させる。 ◆ 毎日の宿題で音読させることで、内容を理解させたり表現の仕方をつかませたりさせる。 	
6 振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ これからの学習の目標や取り組みたいことを書かせる。 ○ 教科書の投書の中に説得力のある投書があったので、それを参考にして、よい説得力のある投書を書きたい。 	<p>○ 進んで書き手の主張や説得の工夫を読んだり書いたりしようとしている。</p> <p>【関・意・態】(ノート)</p>

7 本時の展開 (3・4 / 12 時間)

(1) 本時の目標

教科書の4つの投書から最も納得した投書を選び、説得の工夫を読み取る。 【読む】

(2) 観点別評価規準

投書の構成、理由づけの仕方や根拠の挙げ方など、書き手の説得の工夫をとらえている。 【読む】

(3) 学習の展開

学習活動	指導上の留意点 (・), 予想される児童の反応 (○) 配慮を要する児童への支援 (◆)	評価規準 (評価方法) 教科の指導事項 (○) 資質・能力 (★)
<p>1 前時の学習を想起する。</p> <p>2 学習課題を設定する。</p> <p>3 見通しをもち、説得の工夫を読み取る。</p> <p>4 説得の工夫を読み取る。</p> <p>5 全体で話し合う。</p> <p>6 まとめる。</p>	<p>・ まずは、4つの投書から最も納得した投書を1つ決め、説得の工夫を考え、その後、残りの3つの投書から説得の工夫を見つけるといった計画を想起させ、学習課題を設定させる。</p> <p>・ 学級で最も説得力があると感じた投書を1つ決めさせ、どんな説得の工夫があると思うか予想させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">1つの投書をもとに、説得の工夫を読み取ろう。</div> <p>・ 説得の工夫を見つける際は、どのような点に着目すればいいか考えさせ、解決の見通しをもたせる。</p> <p>○ 全体の構成や根拠の挙げ方、文末表現の仕方などがいい。</p> <p>・ 説得の工夫を読み取ってノートに書かせる。</p> <p>◆ どういうところが納得したのか、内容や表現方法などについて問いかけながら気付かせていく。</p> <p>・ 説得の工夫について読み取ったことを交流させ、構成や根拠の挙げ方、表現などの視点で整理する。</p> <p>○ アンケートの結果を引用している。</p> <p>○ 理由や読者への反対意見など、文章の構成を工夫している。</p>	<p>○ 投書の構成、理由づけの仕方や根拠の挙げ方など、書き手の説得の工夫をとらえている。【読む】(ノート)</p>
<p>7 学習課題を設定する。</p> <p>8 説得の工夫を読み取る。</p> <p>9 振り返る。</p>	<p>・ 次は、残りの3つの投書から説得の工夫を読み取るという学習計画を想起させ、学習課題を設定させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">自分が選んだ投書の説得の工夫を読み取ろう。</div> <p>・ 3つの中から納得した投書を1つ決めさせる。</p> <p>・ 児童がジグソー学習をして説得の工夫を読み深めたいという様子であれば、3つの投書の人数を均一にしておく。</p> <p>○ 有名人の言葉を引用しているので、説得力があると思った。</p> <p>○ 題名が最後の段落の自分の主張と関係付けてあるので、まねしたい。</p> <p>・ これからの学習の目標や取り組みたいことを書かせる。</p>	<p>○ 投書の構成、理由づけの仕方や根拠の挙げ方など、書き手の説得の工夫をとらえている。【読む】(ノート)</p> <p>○ 投書の文章の構成を目的とともに理解している。【言語】(ノート)</p>

8 本時の展開 (5 / 12 時間)

(1) 本時の目標

自分が納得した投書の説得の工夫について、グループで交流して読み深める。

【読む】

(2) 観点別評価規準

投書の構成、理由づけの仕方や根拠の挙げ方など、書き手の説得の工夫をとらえている。

【読む】

(3) 学習の展開

学習活動	指導上の留意点 (・), 予想される児童の反応 (○) 配慮を要する児童への支援 (◆)	評価規準 (評価方法) 教科の指導事項 (○) 資質・能力 (★)
1 前時の学習を想起する。	<ul style="list-style-type: none"> 前時までのノートを見させて、学習内容を想起させ、本時の活動や学習課題を考えさせる。 	
2 学習課題を設定する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 選んだ投書の説得の工夫をグループで交流して考えを深めよう。 </div>	
3 グループを作り、交流する。	<ul style="list-style-type: none"> 同じ投書を選んだ人と小グループを作らせ、説得の工夫について読み取ったことをグループ内で交流させ、互いの考えを深め合わせる。 時間があれば、複数のグループどうして説得の工夫を読み深めさせる。 <ul style="list-style-type: none"> アンケートを取って数値を示したり、有名人の言葉を引用したりしている。 理由や読者への反対意見など、文章の構成を工夫している。 	
4 各自でまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> 読み取った説得の工夫について各自でノートにまとめさせる。 <ul style="list-style-type: none"> 数値や人の言葉を付けると説得力が高まる。 読者の気持ちを引きつけるような題名をまねしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 投書の構成、理由づけの仕方や根拠の挙げ方など、書き手の説得の工夫をとらえている。【読む】(ノート)
5 振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ①自分の考えを積極的に伝えることができたか。 ②学習の方法(小グループ学習)でうまくいったこと、または失敗したこと(理由) <ul style="list-style-type: none"> グループで話し合ったとき、友達の考えと同じだったので、自分の考えをうまく伝えられなかった。理由は、友達と同じ考えなので、他の言い方が見つからなかったからだ。次は、自分の言葉で伝えたい。 	
6 他のグループに説得の工夫を伝える練習をする。	<ul style="list-style-type: none"> 次時の活動を考えさせ、次時は他のグループに説得の工夫を説明することを確認させる。 自信をもって説明できるように、グループ内で協力し合って練習させる。 	

9 本時の展開 (6 / 12時間)

(1) 本時の目標

4つの新聞の投書の説得の工夫を比較し、読み手を説得するための工夫をまとめる。 【読む】

(2) 観点別評価規準

投書の構成、理由づけの仕方や根拠の挙げ方に気を付けて読み比べ、それぞれの書き手の説得の工夫をとらえている。 【読む】

(3) 学習の展開

学習活動	指導上の留意点 (・), 予想される児童の反応 (○) 配慮を要する児童への支援 (◆)	評価規準 (評価方法) 教科の指導事項 (○) 資質・能力 (★)
1 前時の学習を想起する。	<ul style="list-style-type: none"> 前時までのノートを見させて、学習内容を想起させる。 	
2 学習課題を設定し、方法を確認する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 大めあて 読み手を説得する新聞の投書を書くには、どうすればいいのだろう。 今日の大めあて 説得の工夫を伝え合い、大めあての答えを出そう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ジグソー学習の進め方を確認する。 共通点が見つかるかもしれないということを伝えておく。 	
3 グループの他の人に説得の工夫を説明する。	<ul style="list-style-type: none"> 読み手を説得する説得の工夫を見つけているか観察し、目的が薄れているグループには声かけをする。 ある程度、話し合いが進んだら共通点や相違点を整理させる。 ◆ ノートを見せながら大きな声で発表できるよう支援する。 ○ 文章の構成がどれも同じだ。 ○ アンケートを取ったり有名人の言葉を引用したりしているところが違う。 	
4 見付けた共通点や相違点を全体で発表する。	<ul style="list-style-type: none"> 説得の工夫に関する共通点や相違点を発表させる。(構成、理由づけの仕方や根拠の挙げ方など) 構成について教科書の手引きでグループごとに確かめさせる。 ○ 予想される意見に対する反論も共通点だ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 投書の構成、理由づけの仕方や根拠の挙げ方に気を付けて読み比べ、それぞれの書き手の説得の工夫をとらえている。 【読む】(ノート)
5 各自でまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> 大めあて「読み手を説得する新聞の投書を書くには、どうすればいいのだろう。」の答えを各自でまとめさせる。 ◆ 板書を見ながら視点に沿ってノートに書かせる。 ○ 主張—理由と根拠—反論—まとめという構成は共通だ。 ○ 根拠が目的によって違っていることが分かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ★ 友達と複数の考えや資料を比較して、必要な情報を取捨選択している。 【思考力・表現力】(ノート, 行動観察)
6 振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ①自分の考えを積極的に伝えることができたか。 ②学習の方法(今回はジグソー法)でうまくいったこと、または失敗したこと(理由) ③もっと学んでみたいこと 	<ul style="list-style-type: none"> ★ 言葉を通じて積極的に人と関わり自己表現している。 【主体性・積極性】(ノート, 行動観察)

10 本時の展開 (7・8/12 時間)

(1) 本時の目標

投書の構成に基づき、理由付けの仕方や根拠の挙げ方を生かして投書を書くことができる。【書く】

(2) 観点別評価規準

自分の考えが読み手に伝わるように、構成を工夫し、理由を明確にして投書を書いている。【書く】

(3) 学習の展開

学習活動	指導上の留意点 (・), 予想される児童の反応 (○) 配慮を要する児童への支援 (◆)	評価規準 (評価方法) 教科の指導事項 (○) 資質・能力 (★)
1 前時の学習を想起する。	<ul style="list-style-type: none"> 4つの投書を読み比べて分かった説得の工夫と、次の学習活動を想起させ、本時のめあてをもたせる。 	
2 学習課題を設定する。	総合的な学習の時間の素晴らしさについて、読み手を説得する新聞の投書を書こう。	
3 見通しをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> 新聞の投書を書くにあたり、どのような計画で進めていけばいいか考えさせる。 ○ まず構成に沿って主張と理由を決め、それを支えるための具体的な根拠の挙げ方を考えるなど。 	
4 構成に沿って理由や根拠を考える。	<ul style="list-style-type: none"> 読み取った投書の構成を参考に、総合的な学習の時間の素晴らしさを伝えるための自分の主張や理由付け、予想される反論などを構成表に書かせる。 ◆ 児童に主張や理由を尋ねることで、理由づけの仕方や根拠の挙げ方を具体的にイメージさせていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の考えが読み手に伝わるように、構成を工夫し、理由を明確にして投書を書いている。【書く】(投書)
5 根拠の内容と根拠の収集方法を考える。	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の投書の例を参考に、どのような根拠を挙げれば、読み手を説得することができるか考えさせる。 具体的な数値や体験談、他者のコメントなど、何をどのように収集すればいいか考えさせ、準備をさせる。 ○ NPOの人やクラス内でアンケートを取って集計しよう。 	
6 構成表と収集した根拠の情報を基に投書を書く。	<ul style="list-style-type: none"> 投書の構成表と、自分が収集した根拠の情報を基に投書を書かせる。 ◆ 同じ理由づけや根拠の児童がいれば情報交換させることで、根拠の挙げ方を具体的に書かせていく。 	
7 原稿を読み直し、推敲する。	<ul style="list-style-type: none"> 読み手になったつもりで自分の投書を読み直し、推敲させたり友達に相談したい内容を準備させたりする。 ○ 事実と感想や意見を区別するといい。 ○ 簡単にまとめられるところは、簡潔にするなど。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の考えが読み手に伝わるように、構成を工夫し、理由を明確にして投書を書いている。【書く】(投書) ★ 自分が書いた文章について、視点をもって自己評価したり友達に相談したいことを考えたりしている。【思考力・表現力】(投書)
8 振り返る。	①投書を書いた感想 ②次の目標	

11 本時の展開 (9/12時間)

(1) 本時の目標

他の人の投書を読み、相互評価したり自己評価したりして推敲することができる。 【書く】

(2) 観点別評価規準

自分の考えが読み手に伝わるように、理由をより明確にして投書を書いている。 【書く】

(3) 学習の展開

学習活動	指導上の留意点 (・), 予想される児童の反応 (○) 配慮を要する児童への支援 (◆)	評価規準 (評価方法) 教科の指導事項 (○) 資質・能力 (★)
1 前時の学習を想起する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前時で推敲した内容を想起させる。 ・ 友達と何を伝え合いたいか考えさせる。 ○ 友達の説得力のあるところやアドバイスを交流して、自分の投書をよりよくしたい。 	
2 学習課題を設定する。	<p>説得の工夫のよさや改善点を友達と伝え合い、自分の投書を推こうしよう。</p>	
3 小グループで読み合い、よさや改善点を付箋紙に書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小グループを作らせ、友達の投書について、読み手として納得できたか考え、工夫のよい点や改善点を付箋紙に書かせる。 ◆ 理由づけの仕方や根拠の挙げ方、表現などの視点を想起させて、よい点や改善点を見つけさせる。 ○ NPOの人にインタビューして、その言葉を引用しているので、説得力があるなど思った。 ○ 題名が読者を引きつけるものになっているので、まねしたい。 	<p>★ 自分が書いた文章について、視点をもって自己評価したり友達と相互評価したりしながら、推敲している。【思考力・表現力】(投書)</p>
4 自分の投書を推敲する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 友達からの付箋紙の内容を参考に、再度、自分の投書を推敲させる。 ◆ 友達からのアドバイスを基に、どのように改善すればよいか具体的にアドバイスをする。 ○ 最後の段落の内容と題名が繋がっていないのではないかとこのアドバイスをもらったので、最後の段落の中で自分が一番伝えたい言葉を使って、題名を付けてみた。 	<p>○ 自分の考えが読み手に伝わるように、理由をより明確にして投書を書いている。【書く】(投書)</p>
5 振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ①投書を書くにあたってうまくいったこと、または難しかったこと (理由) ②次の目標 ○ 文章の構成はできたので、あとは、Aさんのように文末の表現を工夫して、印象に残る書き方をしたい。 	

12 本時の展開 (10・11/12時間)

(1) 本時の目標

より説得力のある理由付けの仕方や根拠の挙げ方を話し合い、グループで投書を書くことができる。

【書く】

(2) 観点別評価規準

考えが読み手に伝わるように、構成を工夫し、理由を明確にして投書を書いている。

【書く】

(3) 学習の展開

学習活動	指導上の留意点 (・), 予想される児童の反応 (○) 配慮を要する児童への支援 (◆)	評価規準 (評価方法) 教科の指導事項 (○) 資質・能力 (★)
1 前時までの学習を想起する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前時に書いた新聞の投書を想起させ、実際の新聞に掲載できる文字数(1面あたり約4,800字)を伝える。 ・ グループごとにまとめると、6班ずつ2回に分けて新聞に掲載できることを知らせる。 	
2 学習課題を設定する。	より説得力のある投書になるようにグループでまとめよう。	
3 小グループで話し合い、投書をまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小グループごとに互いの投書を読み合い、より説得力のある理由付けの仕方や根拠の挙げ方を話し合って選択させる。 ・ 選択した内容に基づいてグループで1つの投書を書かせる。 ○ 根拠として数値を示しているBさんの投書が説得力があるので、Bさんのクラスアンケートの結果を使って書こう。 ○ アンケート結果ばかりになると説得力が下がるので、空き家再生した人にインタビューした内容を引用してみよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主張が読み手に伝わるように、構成を工夫し、理由を明確にして投書を書いている。【書く】(投書) ★ 視点をもって自己評価したり友達と相互評価したりしながら、推敲している。【思考力・表現力】(投書)
4 全体で発表し、相互評価をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4班で1つのグループを作り、グループごとに発表し合い、説得の工夫の視点(理由づけの仕方や根拠の挙げ方、表現など)に基づいてよい点や改善点を話し合わせる。 ◆ 具体的な根拠は他のグループのデータを活用することも伝える。 ○ 自分たちの主張を伝えるために、具体的な根拠が書いてあったので、根拠の挙げ方がいいなと思った。 ○ 予想される意見に対する反論の内容が、自分たちの主張とうまくつながっていないと思うので、予想される意見に対する反論の内容には、あえて自分たちの主張と反対の内容を書くようにして、主張とつながるようにした方がいいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ★ 視点をもって自己評価したり友達と相互評価したりしながら、推敲している。【思考力・表現力】(投書)
5 投書を仕上げます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相互評価に基づいて、さらに小グループで推敲して投書を書かせる。 ○ Cグループからもらったアドバイスについて直そう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 考えが読み手に伝わるように、構成を工夫し、理由を明確にして投書を書いている。【書く】(投書)
6 振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ①学習の方法(小グループ学習)でうまくいったこと、または失敗したこと(理由) ②もっと学びたいこと 	<ul style="list-style-type: none"> ★ 言葉を通じて積極的に人と関わり自己表現している。【主体性・積極性】(ノート、行動観察)

13 本時の展開 (12 / 12 時間)

(1) 本時の目標

単元初めに書いた自分の投書と最終的な投書を読み比べ、単元の大めあてと学習の方法を振り返り、自分の成長と今後の学習について書くことができる。 【関・意・態】

(2) 観点別評価規準

自分の成長とこれからの課題について具体的に考えて書いている。 【関・意・態】

(3) 学習の展開

学習活動	指導上の留意点 (・), 予想される児童の反応 (○) 配慮を要する児童への支援 (◆)	評価規準 (評価方法) 教科の指導事項 (○) 資質・能力 (★)
1 前時までの学習を想起する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元の初めに書いた投書を返却して読ませ、単元の感想を発表させる。 ・ 児童の成長を肯定的に評価し、次の目標を発表させることで、学習課題をもたせる。 ○ 次は、別の話題でアンケートなどを取って投書を書いてみたい。 	
2 学習課題を設定する。	<p>できるようになったこととこれからの課題を考えよう。</p>	
3 単元の初めと終わりの投書を読み比べ、考えを書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の発表の中から、省察の視点 (何ができて何ができていないのか、これからの課題など) を板書する。 ・ 単元を通して作成した自分の投書を読ませ、視点に沿って省察させる。 ○ 説得力のある投書を書くために、文章の構成を考えて、投書を書くことができるようになった。 ○ 友達にアドバイスをもらって投書を完成させたので、次は自分だけでも完成させるようにがんばりたい。 	<p>★ 視点をもって自己評価したり友達と相互評価したりしながら、推敲している。【思考力・表現力】(ノート)</p>
4 グループに分かれて発表し、相互評価し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループに分かれさせて振り返った内容を発表させ、互いの成長や学習を認め合いながら相互評価させる。 ○ Dさんの投書は、予想される意見に対する反論の書き方が、読者の気持ちを考えた書き方になっているので、いいなと思った。 ○ E君は、始めは投書がなかなか書けなかったけど、友達の意見をよく聞いて、粘り強く書いていたみたいので、すごいなと思った。 	<p>○ 自分の成長とこれからの課題について具体的に考え、書いている。【関・意・態】(ノート)</p>
5 単元全体を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ①学習して分かったこと (大めあての答え) ②学習の方法 (小グループ学習など) でうまくいったこと、または失敗したこと (理由) ③もっと学びたいこと ○ フリースペースで発行された時の読者の反応が知りたい。 ○ 投書の他に、読者を納得させる文章にはどんなものがあるのか学んで、実際に文章を書いてみたい。 	